

令和元年度 東区ACP研修会（概論編） アンケート結果

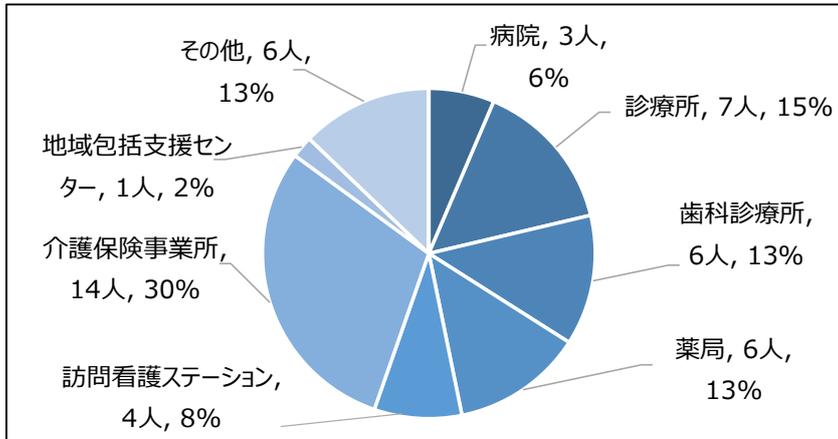
日時：令和元年 7月 6日（土） 14:00～16:00

場所：名古屋市医師会館 6階講堂

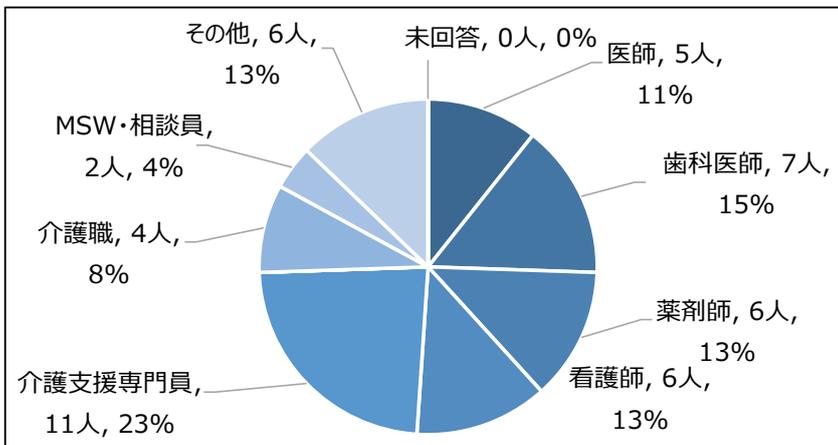
アンケート回収率：78%（アンケート記入者47名／参加者60名）

1. 参加者ご自身について

①所属を教えてください

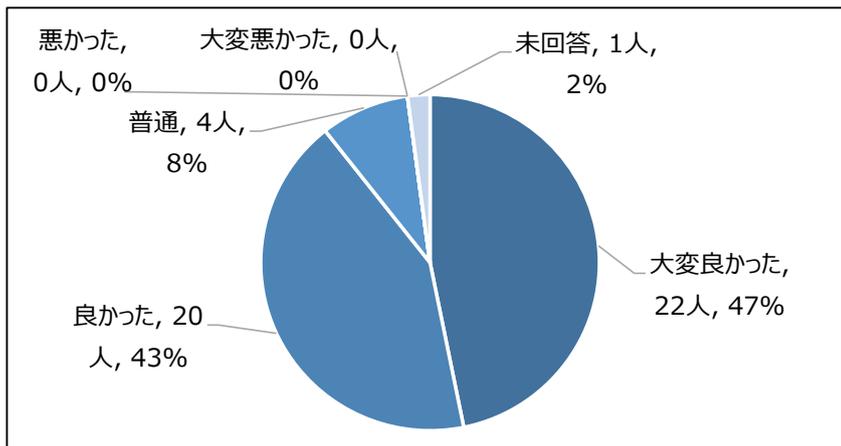


①職種を教えてください

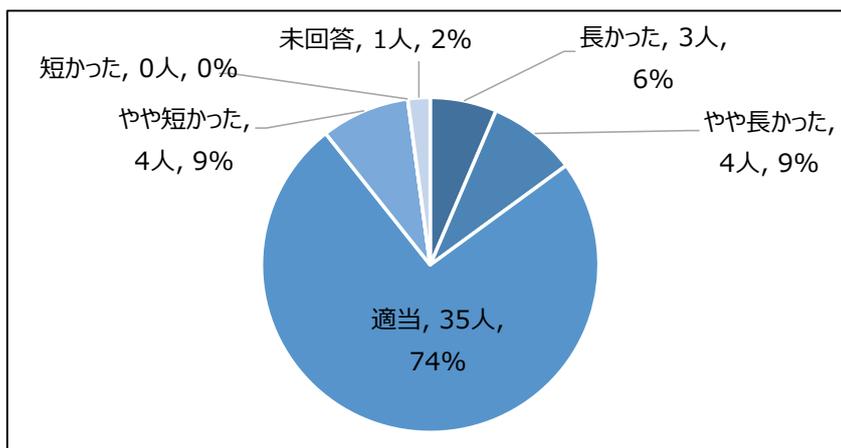


2. 講義（ACP概論）について

①内容はいかがでしたか？

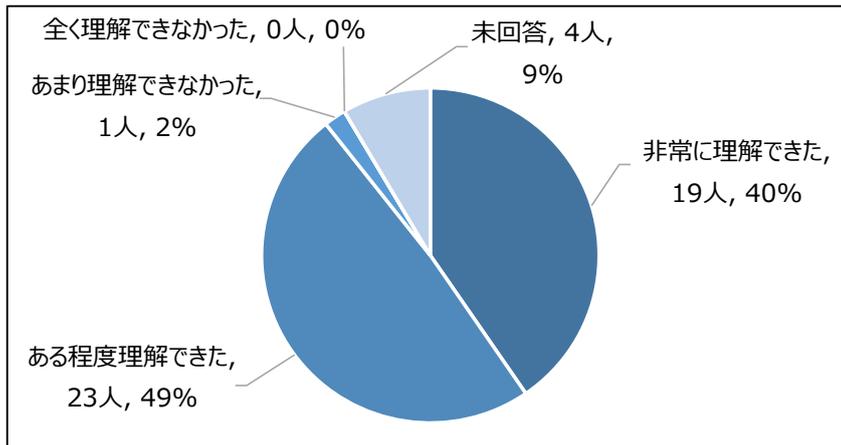


②時間はいかがでしたか？

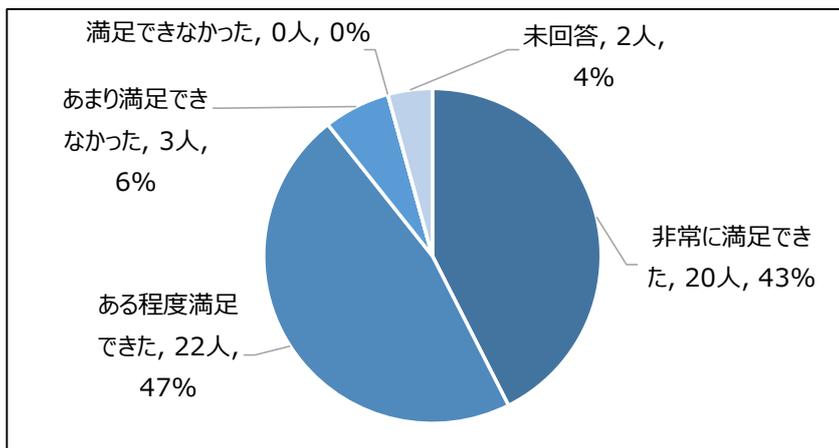


3. グループワークについて

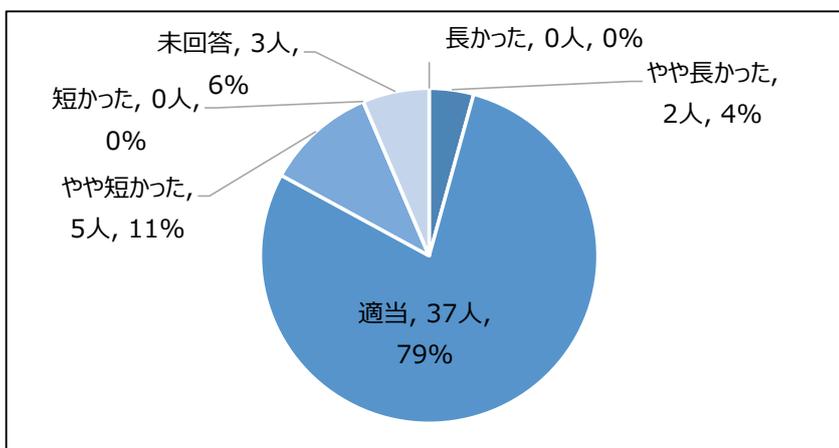
① ねらい（どの段階でACPを始めるのが有効か？）は理解できましたか



② ディスカッションは満足できましたか

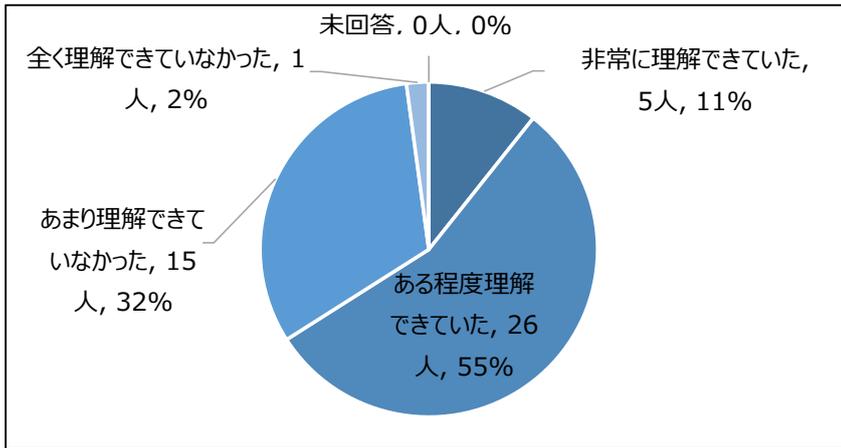


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

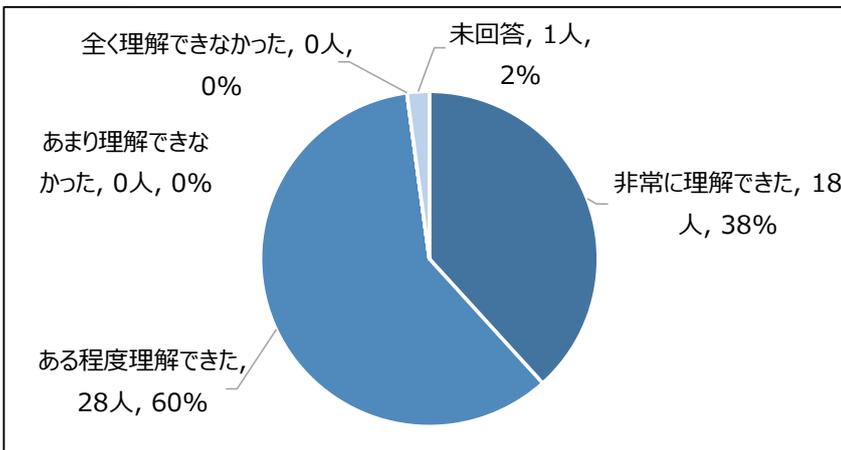


4. 本ACP研修会について

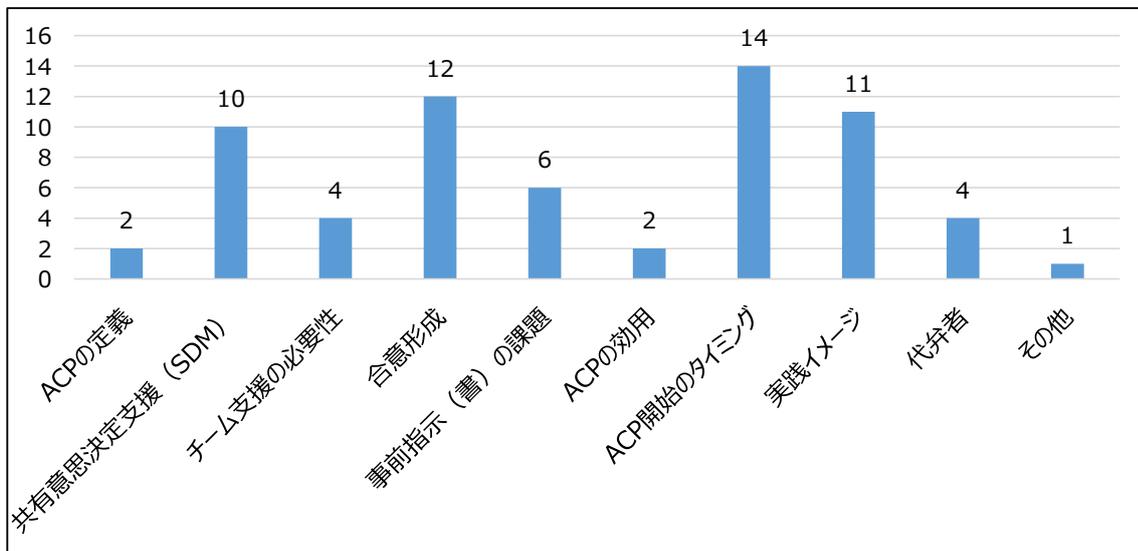
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



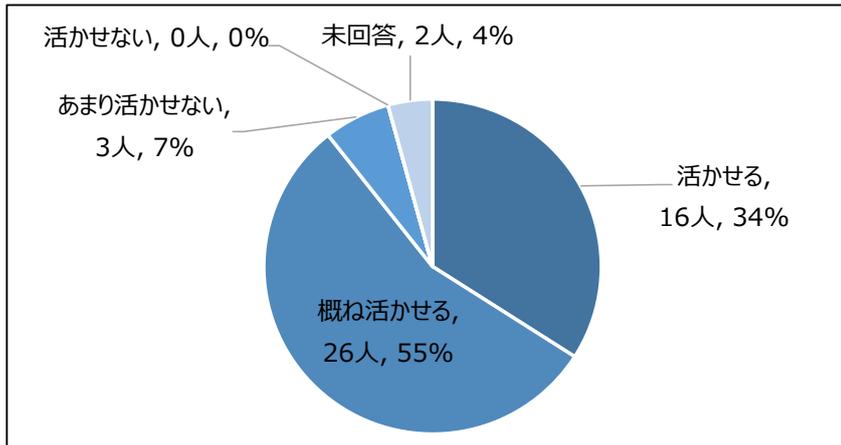
② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



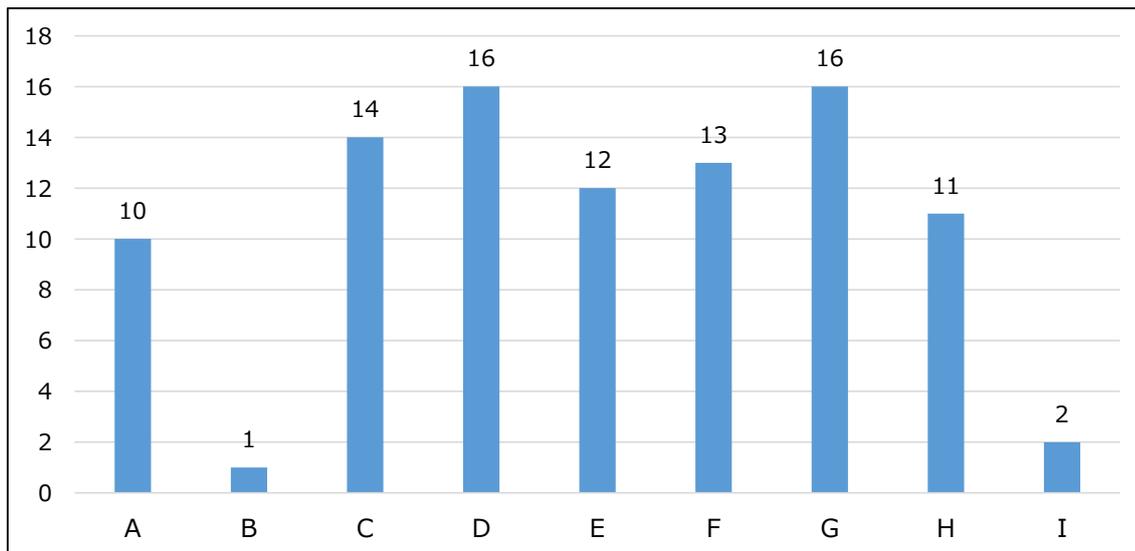
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

- ・これまでと切り口の違うテーマで日頃伺えない意見や思いを聞き多職種ディスカッションを行うことが有意義であった。
- ・A C P の普及啓発などにがんばってきたい。
- ・通所介護施設の職員は密に接し信頼関係も築きやすく本音や不安を聞き取りやすい立場であることを再認識できた。今後は、はち丸ネットワークを活用して多職種との情報共有に努めたい。
- ・多職種の連携、どう共有するか考え、社内で話し合いたい。
- ・介護職はA C P について受け身のような感覚であったが実際は本人と密に関わる機会も多く、本当の想いを伺うことができる立場にあるのかもしれないと感じることができた。
- ・利用者の考えを情報として発信できるようにしていきたい。
- ・チームでの関わりが大切であり、患者情報を共有するツール I C T を活用することが必要と思われる。
- ・1人での情報量は限界があるので、多職種連携で情報を共有することで情報量がアップすることが理解できた。
- ・A C P の話し合い開始については、その場その時の状況にもよるが機会あるごとに気軽に話し合える事が大事かと思った。どういうエンディングを迎えるかの意思表示はしておくべきと考えるが、話し合いの切り出しが難しいとも思う。
- ・はち丸ネット利用での情報共有が大事であり多職種共有していく必要性を感じた。介護職へ活かされることと、医療職へ活かされることに違いもあり、また本人・家族のお気持ち変化もあると思うため連携の大切さを感じる。
- ・未病の一般の方への広報がうまくいった例を知りたい。
- ・今後の研修においても多職種ディスカッションを希望する。
- ・今後も具体的な例で信頼構築のきっかけなど経験を共有する研修をお願いしたい。
- ・A C P の理解普及をすすめるために、フォローアップ研修会を要望する。
- ・また同様の研修会があればぜひ参加したい。